

1 . 白老町様向け高齢者見守りシステム導入事例

白老町の現状

地方の市町村と同様に高齢化問題が深刻

- 声かけ、見守り、お手伝いなどの、小地域ネットワーク活動を町内会が主体となり推進しているが、**担い手の高齢化が進み、活動を支援する新たな仕組みづくりが求められていた。**

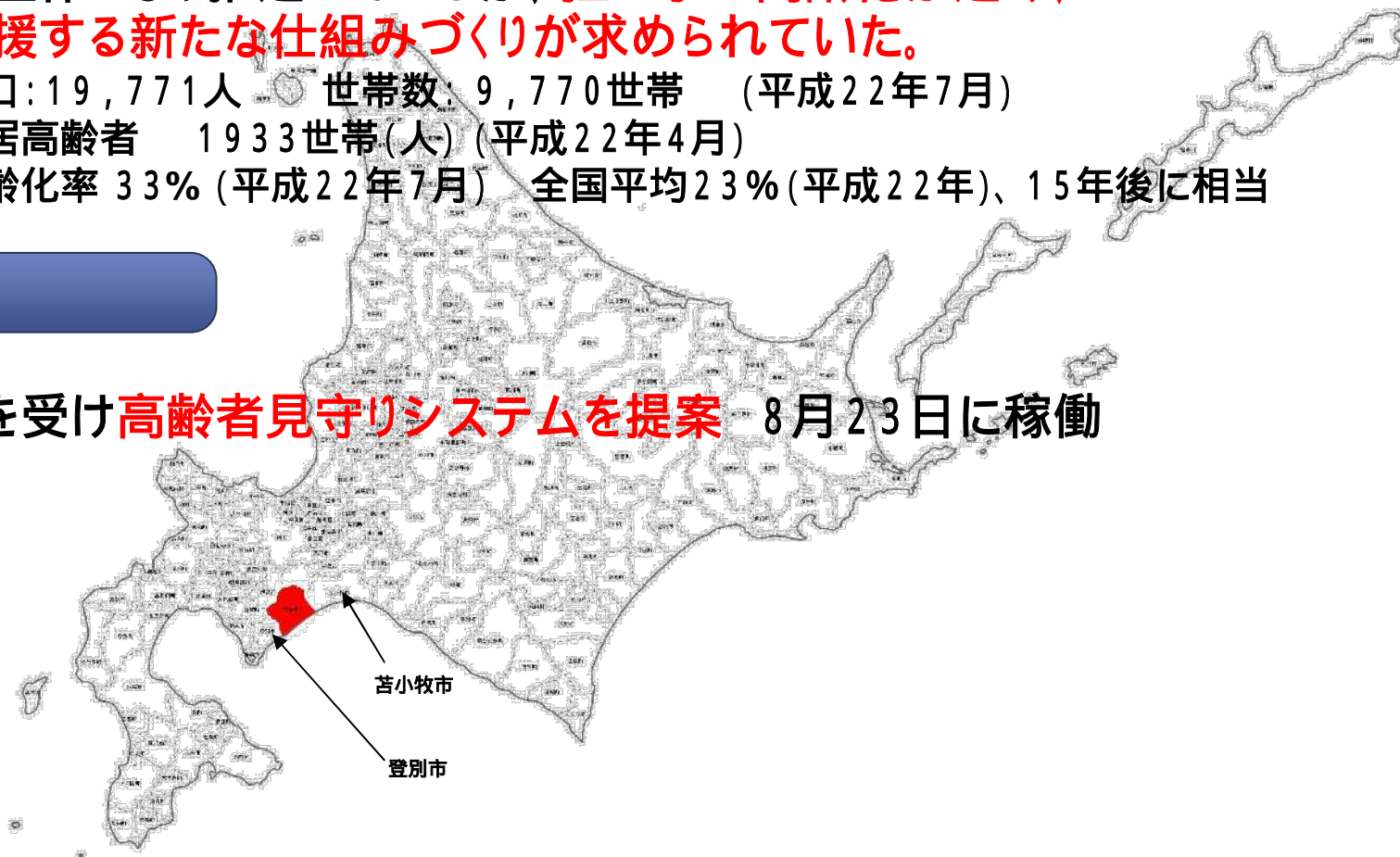
参考 人口:19,771人 世帯数:9,770世帯 (平成22年7月)

独居高齢者 1933世帯(人) (平成22年4月)

高齢化率 33% (平成22年7月) 全国平均23% (平成22年)、15年後に相当

商談経緯

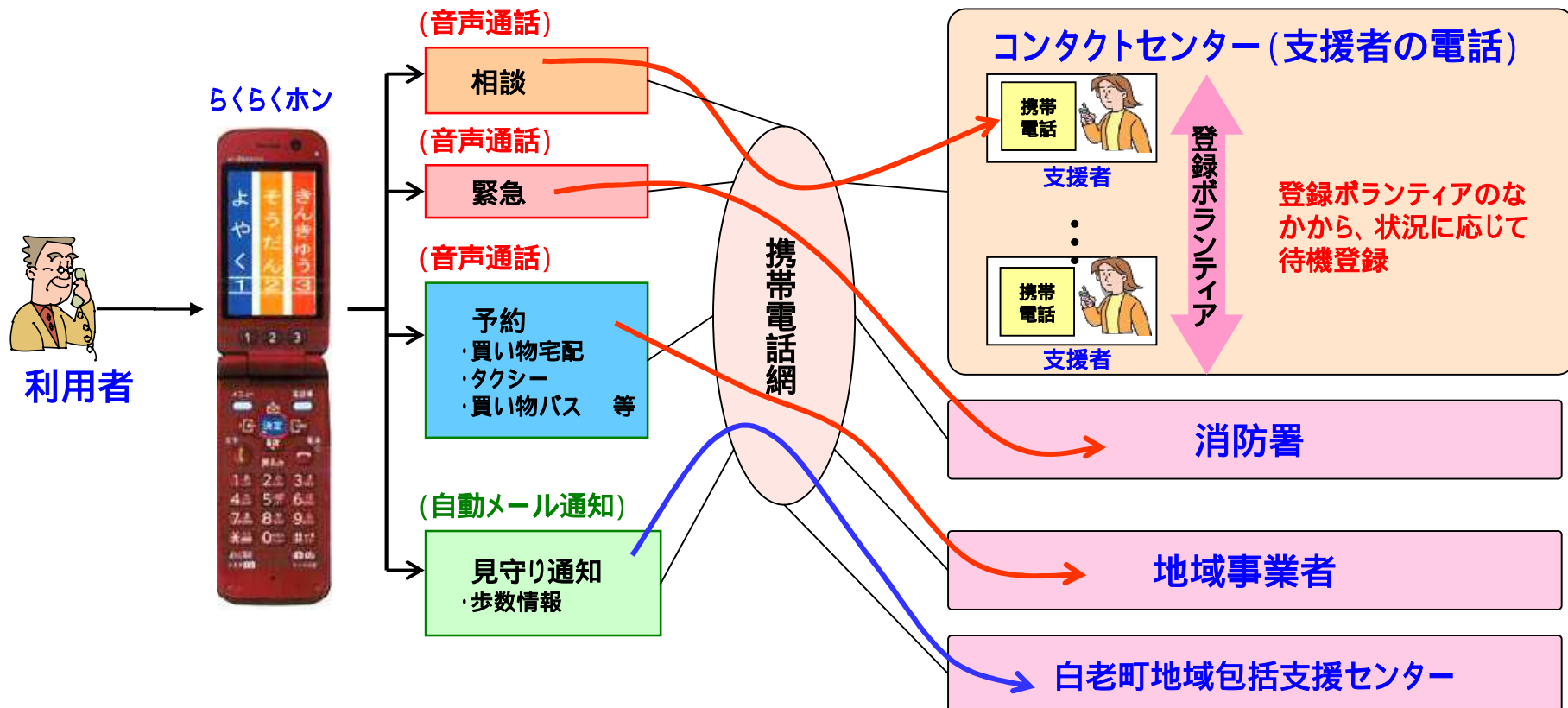
- 上記相談を受け**高齢者見守りシステムを提案** 8月23日に稼働



2 . 高齢者見守りシステムとは

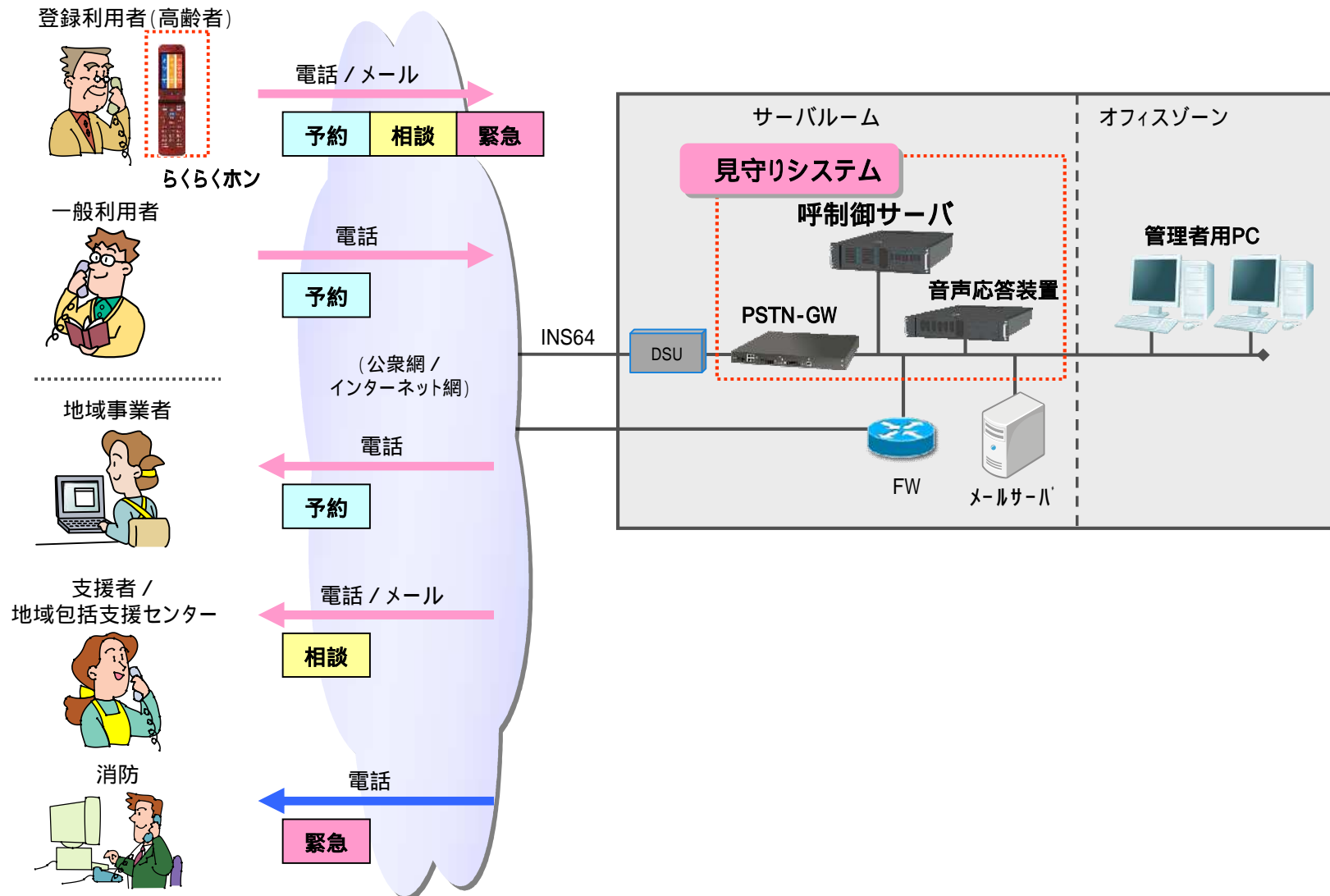
- 独居高齢者または高齢者夫婦世帯にらくらくホンを配布(当初60台)
- らくらくホンのボタン1~3に『よやく』、『そうだん』、『きんきゅう』を割り付け、ボタンを押すだけで、生活支援を実現

いつでも・どこでも高齢者の安全の確保と生活を支える見守りサービスを提供

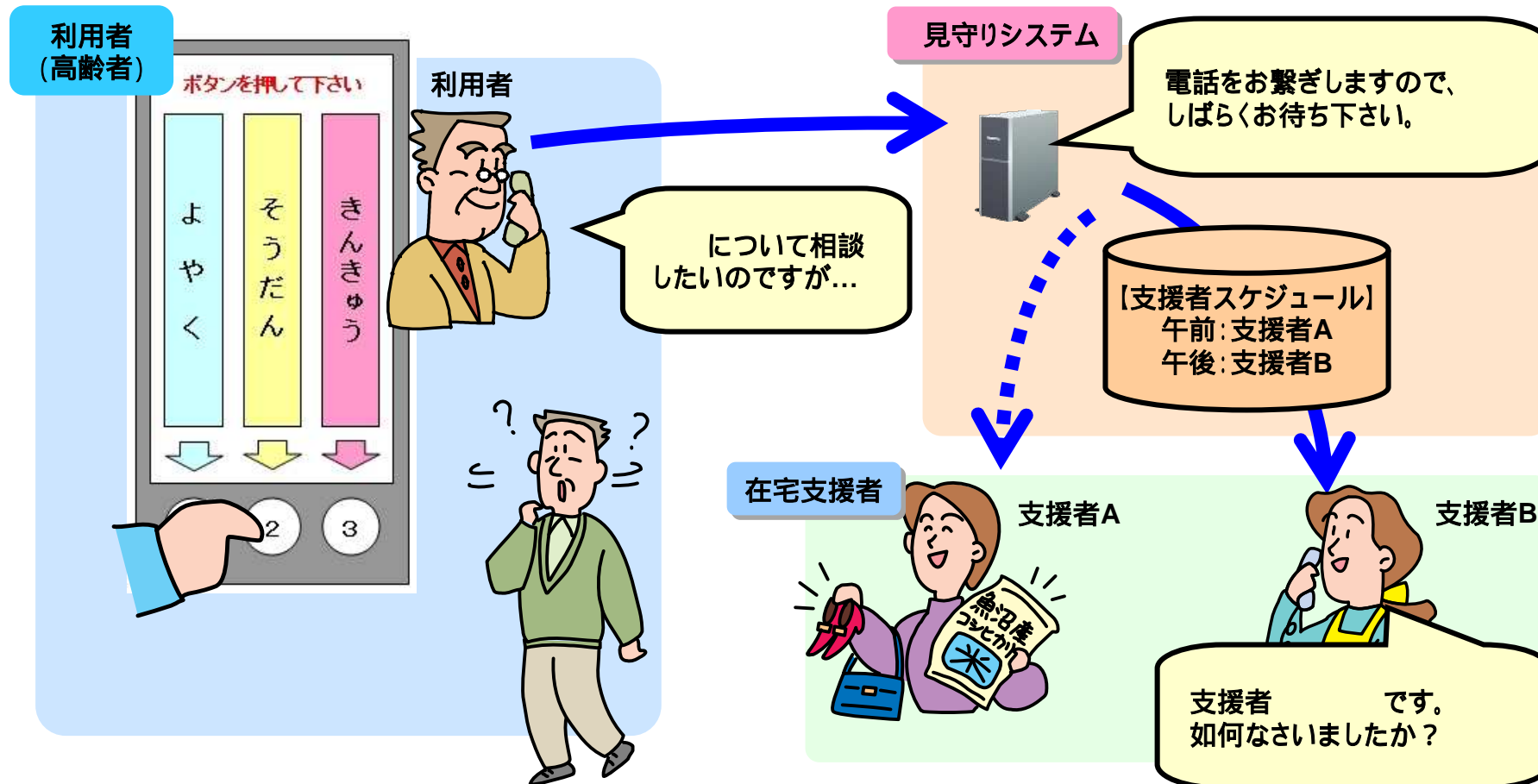


3. システム構成

■相談、予約の電話の振り分けを見守りシステムが実現



4. サービスイメージ(そうだんボタンを押すと)



- 健康や生活等、支援者と相談したい場合に、【そうだん】ボタンを押すことで、見守りシステムへ電話発信します。
- 見守りシステムは、利用者からの電話に対して自動応答し、支援者スケジュールから、対応する支援者へ電話を転送します。
- 支援者が話中等で電話に出れない場合や業務時間外は、伝言録音し、Eメールで通知します。

支援者に対して、在宅等で交替制でサポートできる仕組みを提供し、負荷を軽減